

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日
上場取引所 東

上場会社名 共英製鋼株式会社
 コード番号 5440 URL <https://www.kyoeisteel.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣富 靖以
 問合せ先責任者 (役職名) 本社経営企画部長 (氏名) 増田 晶紀 TEL 06-6346-5221
 四半期報告書提出予定日 2021年2月10日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満四捨五入)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	163,550	△10.8	11,381	△25.8	11,577	△22.7	8,295	50.4
2020年3月期第3四半期	183,418	3.9	15,329	127.2	14,977	153.6	5,514	21.1

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 7,721百万円 (57.8%) 2020年3月期第3四半期 4,892百万円 (22.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	190.86	—
2020年3月期第3四半期	126.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	286,911	165,865	54.4
2020年3月期	273,850	161,581	55.2

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 156,076百万円 2020年3月期 151,207百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	10.00	—	65.00	75.00
2021年3月期	—	15.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	35.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	225,000	△6.0	11,500	△40.7	11,500	△39.3	7,500	△34.7	172.58

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	44,898,730株	2020年3月期	44,898,730株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,439,755株	2020年3月期	1,439,755株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	43,458,975株	2020年3月期3Q	43,459,004株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間においては、国内外ともに新型コロナウイルス感染症の影響により経済活動が大きく停滞しました。感染拡大防止と経済活動の両立を目指す中で一時は持ち直しの動きが見られたものの、再び世界的な感染拡大が見られ、影響の長期化が懸念される状況で推移しています。

当社グループの属する普通鋼電炉業界においては、新型コロナウイルスの影響による先行き不透明感などにより、国内建設用鋼材需要は低水準で推移しました。一方、原材料である鉄スクラップの価格は、経済活動の停滞に伴う発生減に加え、中国の鉄スクラップ輸入再開の動きが具体化してきたことから第3四半期会計期間において急騰し、強基調で推移しました。こうした中で、当社グループでは、より一層のコスト削減と製品価格の引き上げ等により、利益の確保に努めました。

海外鉄鋼事業については、ベトナム、北米とも新型コロナウイルスの影響による経済停滞の中で、ベトナムは落ち着きを取り戻しつつある一方、北米は引き続き厳しい環境の中で苦戦が続きました。

これらの結果、当社グループの連結売上高は前年同期対比19,868百万円（10.8%）減収の163,550百万円となりました。連結営業利益は前年同期対比3,948百万円（25.8%）減益の11,381百万円、連結経常利益は同3,400百万円（22.7%）減益の11,577百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同2,781百万円（50.4%）増益の8,295百万円となりました。

セグメント別の業績は以下のとおりです。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、当第3四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後のセグメント区分に基づいています。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記」の（セグメント情報等）「2. 報告セグメントの変更等に関する事項」をご覧ください。

① 国内鉄鋼事業

当事業部門については、製品出荷量は前年同期対比6.9万トン（5.5%）減の118.3万トンとなりました。製品価格は前年同期対比トン当たり6.0千円（8.7%）下落した一方、鉄スクラップ価格は昨年11月に急騰し、以降も騰勢を強めた結果、当第3四半期連結累計期間としては同2.0千円（7.0%）の下落に留まり、利益の源泉となる売買価格差（製品価格と原材料価格の差額）は4.0千円（9.8%）縮小しました。

以上の結果、売上高は前年同期対比12,089百万円（12.8%）減収の82,015百万円、営業利益は同1,914百万円（14.2%）減益の11,566百万円となりました。

② 海外鉄鋼事業

当事業部門は、ベトナムと北米にて鉄鋼事業を展開しております。

ベトナムにおける第3四半期会計期間（7～9月）は雨季による不需要期でしたが、期初より厳しい業況が続いていた南部拠点では、販売戦略の見直し等により、業績が回復に向かいました。北部においては、製造・販売両面での取り組みの継続により、徐々に黒字基調が定着してまいりました。

一方、北米においては、新型コロナウイルスの影響による経済の停滞の中、建設用鋼材市場は比較的堅調でしたが、鉱山向け製品の需要が低調であり、厳しい状況が続きました。

以上の結果、売上高は前年同期対比9,540百万円（11.4%）減収の74,057百万円、営業損失は同2,158百万円減益（前年同期は2,091百万円の営業利益）の66百万円となりました。

③ 環境リサイクル事業

当事業部門については、自動車など生産活動の回復による産業廃棄物発生量の増加に加え、医療廃棄物の取扱量の増加やスポット案件の獲得により、売上高は前年同期対比2百万円（0.0%）減収の4,812百万円でしたが、営業利益は同95百万円（13.7%）増益の788百万円となりました。

④ その他の事業

当事業部門については、国内子会社による土木資材の販売のほか、ベトナムで港湾事業及び鋳物事業、国内で鋳物事業等を展開しております。売上高は前年同期対比1,763百万円（195.4%）増収の2,666百万円、営業損失は同110百万円減益（前年同期は83百万円の営業利益）の27百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて12,832百万円（8.1%）増加し、172,025百万円となりました。これは、現金及び預金が8,996百万円、受取手形及び売掛金が3,174百万円、電子記録債権が4,465百万円増加し、有価証券が1,300百万円、商品及び製品が1,042百万円減少したこと等によります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて229百万円（0.2%）増加し、114,886百万円となりました。これは、有形固定資産その他が1,690百万円、投資有価証券が732百万円増加し、機械装置及び運搬具が1,578百万円、投資その他の資産その他が1,776百万円減少したこと等によります。

この結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて13,061百万円（4.8%）増加し、286,911百万円となりました。（負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて1,582百万円（1.9%）減少し、80,655百万円となりました。これは、支払手形及び買掛金が6,978百万円、1年内返済予定の長期借入金が1,402百万円増加し、短期借入金が6,782百万円、未払法人税等が2,746百万円、流動負債その他が1,475百万円減少したこと等によります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて10,359百万円（34.5%）増加し、40,391百万円となりました。これは、長期借入金が9,629百万円増加したこと等によります。

この結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて8,777百万円（7.8%）増加し、121,046百万円となりました。

（純資産）

純資産は、前連結会計年度末に比べて4,284百万円（2.7%）増加し、165,865百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益8,295百万円、剰余金の配当3,477百万円等によります。

この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の55.2%から、54.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

第4四半期連結会計期間について、国内鉄鋼事業においては、鋼材需要が停滞する中、製品出荷量は直近計画を若干上回る見通しです。一方で、鉄スクラップ価格の急騰を受け、製品価格の引き上げに努めているものの、製品の契約から出荷までに時間を要すること、鉄スクラップ価格は当面強含みで推移するものと考えられることから、売買価格差は前回想定を下回る見通しです。

海外鉄鋼事業については、ベトナムにおいては、中国の旺盛な生産による原料市況の高騰に加え、競合環境も引き続き厳しい状況ですが、鋼材需要、製品市況は好転しており、業績の改善が見込まれます。北米においては、建設用鋼材市場はコロナ禍においても比較的堅調ですが、米国、カナダともに製品価格の上昇が緩慢な中、原材料価格の高騰、設備改修工事による操業停止等により、業績は厳しいものとなる見通しです。

以上により、通期の連結業績について、2020年10月30日の「2021年3月期 第2四半期決算短信」で公表しました通期の業績予想を修正いたします。配当予想につきましては変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	55,609	64,605
受取手形及び売掛金	39,603	42,776
電子記録債権	11,501	15,966
有価証券	2,300	1,000
商品及び製品	25,105	24,064
原材料及び貯蔵品	21,484	20,830
その他	4,258	3,434
貸倒引当金	△667	△650
流動資産合計	159,192	172,025
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	21,459	21,946
機械装置及び運搬具(純額)	40,821	39,244
土地	31,186	31,737
その他(純額)	4,185	5,875
有形固定資産合計	97,652	98,802
無形固定資産		
のれん	267	161
その他	2,399	2,627
無形固定資産合計	2,666	2,788
投資その他の資産		
投資有価証券	9,191	9,922
その他	5,213	3,437
貸倒引当金	△64	△64
投資その他の資産合計	14,340	13,296
固定資産合計	114,657	114,886
資産合計	273,850	286,911

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,482	17,460
電子記録債務	2,975	3,415
短期借入金	46,737	39,955
1年内返済予定の長期借入金	4,260	5,662
未払法人税等	3,976	1,230
賞与引当金	756	1,375
役員賞与引当金	18	1
その他	13,033	11,558
流動負債合計	82,238	80,655
固定負債		
長期借入金	20,640	30,269
繰延税金負債	1,824	1,814
再評価に係る繰延税金負債	2,433	2,433
退職給付に係る負債	4,031	4,293
その他	1,104	1,583
固定負債合計	30,032	40,391
負債合計	112,269	121,046
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,516	18,516
資本剰余金	21,141	21,179
利益剰余金	108,335	113,343
自己株式	△1,700	△1,700
株主資本合計	146,292	151,337
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	246	455
繰延ヘッジ損益	△158	△376
土地再評価差額金	4,625	4,625
為替換算調整勘定	286	121
退職給付に係る調整累計額	△83	△86
その他の包括利益累計額合計	4,916	4,739
非支配株主持分	10,373	9,789
純資産合計	161,581	165,865
負債純資産合計	273,850	286,911

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	183,418	163,550
売上原価	157,141	140,734
売上総利益	26,278	22,816
販売費及び一般管理費	10,949	11,436
営業利益	15,329	11,381
営業外収益		
受取利息	518	598
受取配当金	141	138
持分法による投資利益	536	676
その他	256	324
営業外収益合計	1,451	1,736
営業外費用		
支払利息	1,488	1,064
為替差損	256	413
その他	60	63
営業外費用合計	1,803	1,540
経常利益	14,977	11,577
特別利益		
固定資産除売却益	16	12
受取保険金	36	—
助成金収入	—	142
その他	9	4
特別利益合計	61	158
特別損失		
固定資産除売却損	489	280
減損損失	4,481	—
災害による損失	21	—
PCB廃棄物処理費用引当金繰入額	46	—
その他	66	79
特別損失合計	5,104	359
税金等調整前四半期純利益	9,934	11,376
法人税等	4,233	3,130
四半期純利益	5,701	8,246
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	187	△48
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,514	8,295

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	5,701	8,246
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	371	209
繰延ヘッジ損益	△261	△262
為替換算調整勘定	△794	△470
退職給付に係る調整額	△125	△3
その他の包括利益合計	△809	△525
四半期包括利益	4,892	7,721
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,000	8,146
非支配株主に係る四半期包括利益	△108	△425

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	94,105	83,597	4,814	182,516	902	—	183,418
セグメント間の内部売上高 又は振替高	63	—	730	793	362	△1,155	—
計	94,168	83,597	5,545	183,309	1,264	△1,155	183,418
セグメント利益	13,480	2,091	693	16,265	83	△1,019	15,329

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、土木資材販売業、保険代理店業等であります。

2 「セグメント利益」の調整額△1,019百万円には、セグメント間取引消去△2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,017百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 「セグメント利益」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

海外鉄鋼事業セグメントにおいて、ベトナム・イタリー・スチール社の収益性が低下したことに伴い、固定資産(のれんを含む)について減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において、4,481百万円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

海外鉄鋼事業セグメントにおいて、減損損失を計上したため、これに伴いのれんの金額が3,263百万円減少しております。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	国内鉄鋼事業	海外鉄鋼事業	環境リサイ クル事業	計			
売上高							
外部顧客への売上高	82,015	74,057	4,812	160,884	2,666	—	163,550
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	—	865	898	825	△1,723	—
計	82,049	74,057	5,677	161,783	3,491	△1,723	163,550
セグメント利益又は損失(△)	11,566	△66	788	12,288	△27	△880	11,381

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、港湾事業、鋳物事業、土木資材販売業、保険代理店業等であります。

2 「セグメント利益又は損失(△)」の調整額△880百万円には、セグメント間取引消去16百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△896百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない提出会社本社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

3 「セグメント利益又は損失(△)」は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、従来、「国内鉄鋼事業」に含まれていた鋳物事業について、「その他」の区分に変更しております。これは、第1四半期連結会計期間より、非連結子会社であった鋳物事業を営む株式会社吉年及びビナ・ジャパン・エンジニアリング社を連結の範囲に含めたことから、経営管理区分の見直しを行ったためであります。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の区分に基づき作成しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。